

ぐんぐん そだて

対 象 : 2 年生

教 科 : 生活科

関連する単元: 1 年生・生活科「ぐんぐんそだて」
3 年生・理科「植物をそだてよう」

時間数 : 10時間

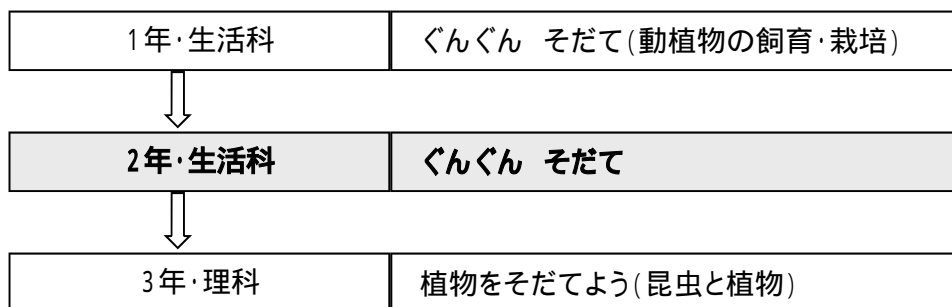
【単元の概要】

学習の背景

東糀谷の町はもともと工場の町で畑、田んぼがほとんどなく、自然と触れ合う体験が乏しい。そこで、植物の成長への関心を高め、栽培への意欲をもたせる学習をとおして、生き物を大切にする心を育てたいと考え、本単元を設定した。

単元の位置づけ

1 年生、2 年生の生活科としておこない、3 年生理科の「植物を育てよう」につなげる。



単元のねらい

- ・ 植物を育て成長の様子を観察する活動を通して、世話をする楽しさや収穫の喜びを味わう。
- ・ 植物の世話を通して、生き物を大切にする心を育てる。

概要

子供たちが育てたい植物を選び、その世話をしながら成長を観察する。
また、収穫したとうもろこしの実からポップコーンを作って食べたり、
実以外の部分を活用して工作をしたりする。

指導計画 (全10時間扱い)

1学期 導入：3 時間 種を植えよう

- ・ひまわり、とうもろこしの種を植えよう (種の観察、種まき)
- ・成長の様子を観察

1学期 展開：3 時間 成長の様子を観察しよう

- ・成長の様子を観察 (ふた葉、本葉、間引き) 6月・7月・8月
- ・花の様子、実の様子

2学期 まとめ：4 時間 収穫しよう

- ・種を集めよう、収穫しよう
- ・ポップコーンを作ろう
- ・とうもろこしの皮で人形を作ろう
- ・とうもろこしの活用について

【環境意識を育成し実践行動へとむすびつけるために工夫した点】

ヒマワリととうもろこし：葉や花のつき方が違うものを花壇で育てた。
高さがある植物なので、小さな種からこんなに大きくなるんだという驚きや
発見がある教材
収穫したものがすべて無駄にならないという利点

【単元・授業の流れと活動目標】

導入 (3時間)	種を植えよう(3時間)		学習指導要領 の対応
	〔活動目標〕 選んだ種を植え、楽しみながら成長を観察する <活動内容> <指導、留意点>		
	ひまわり、とうもろこしの種を植える。 成長の様子を観察する。	ねらい： <u>こんな花に育てて欲しいという 願いを書かせたりしながら観察を することで、植物への愛着をもつ ことができるようにする。</u> ・水やりや除草など毎日の世話を工夫し て行き、成長の様子を観察する。 ・植物の成長の様子や気づいたこと、 嬉しかったこと、植物に対する思いなど を、絵や文などで表現する。	道徳 P.44 国語 P.37 生活 P.34 図画工作 P.25
展開 (3時間)	成長の様子を観察しよう(3時間)		
	〔活動目標〕 世話をする大切さを学ぶ <活動内容> <指導、留意点>		
	成長の様子を観察する。 (ふた葉・本葉)(間引き) 花の様子、実の様子を観察する。	ねらい： <u>育ててきた植物の開花を喜び、 育て上げた充実感を味わうとともに、 植物の生命力を実感する。</u> ・水やりの時間の確保など、世話をす る環境を整える。 ・世話をするだけでなく、発芽や成長の喜び や思いを大切にする。 ・植物の成長の様子や気づいたこと、嬉し かったこと、植物に対する思いなどを、 絵や文などで表現する。	
まとめ (4時間)	収穫しよう(4時間)		
	〔活動目標〕 世話をした植物の収穫をし、喜びを共有する <活動内容> <指導、留意点>		
	種を集め収穫しよう	ねらい： <u>育ててきた花の種や実を収穫し、 来年も育てたいという思いを持っ たり、収穫した実を食べたり、工 作をしたりする。</u>	

まじろ (4時間)	ポップコーンを作ろう	・収穫した種や実の保存方法を考える。	
	とうもろこしの活用について	・とうもろこしでポップコーンを作るにあたり、安全管理も含め保護者の参加を呼びかける。	道徳 P.43
	とうもろこしの皮で人形をつくらう	・保護者やゲストティーチャーとのかかわりを大切にする。	生活 P.36 図画工作 P.23

学習の効果・児童の変化について

- ・とうもろこしの花や実が実際に実ているのを見るのが初めての子がほとんどで、感動や発見があった。
- ・育てたとうもろこしから人形づくりや利用方法を学んだり経験できたことは貴重な体験だった。また、学習後の生活の中でもとうもろこしの原料に関心を持ったり、家庭で話をする機会にもなった。
- ・冬の野菜（大根）を育てる時も、とうもろこしを育てた時のイメージがあり、葉の様子を比べたり、収穫の時を心待ちにして大切に育てていた。